

1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	大月市猿橋町藤崎	地区名	藤崎沢川 (フジサキガワ)	事業主体	山梨県
------------	--------------------	-------------	----------	------------	---------------	-------------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景
 本溪流は、渓床勾配1/3の急峻な土石流危険溪流である。流域面積は0.38km²であり、上流域には不安定な土砂や巨礫が多く存在し、荒廃が著しい。今後の台風や集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、人家16戸のほか市道、公民館、JR中央線等の公共施設も存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測される。土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標 土石流被害の防止

- ・災害実績 無
- ・土砂整備率 0% < 70%※
- ・重要公共施設の有無 有 (JR中央線、公民館 (避難所))

(保全対象=人家16戸、市道1,383m、公民館、JR等)

※評価基準値

□副次目標 ー

□副次効果 ー

(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない
 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 妥当でない
 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当

③経済妥当性 妥当 妥当でない

総事業費	500 百万円	工期	R4~R13	基準年	R3
経済効率性	費用	395 百万円	便益	442 百万円	
	建設費	395 百万円	一般資産被害抑止	93 百万円	
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	21 百万円	
		百万円	公共土木施設等被害	59 百万円	
		百万円	その他※	269 百万円	
B/C			1.1		

※その他は応急対策、人的被害 (精神的損失)
 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない
 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である

⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない
 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした

⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない
 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮

⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない
 地元の要望に基づいている

(2) 整備内容

①整備内容 砂防堰堤 1基 H=10.0m L=50.0m

②着手年度 令和4年度 **③完成見込年度** 令和13年度

④総事業費 約500百万円 (国費250百万円(5/10)県費250百万円(5/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	詳細設計	10 百万円
令和5年度	用地測量	20 百万円
令和6年度	用地取得・立木補償	60 百万円
令和7年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和8年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和9年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和10年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和11年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和12年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和13年度	砂防堰堤工事	50 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

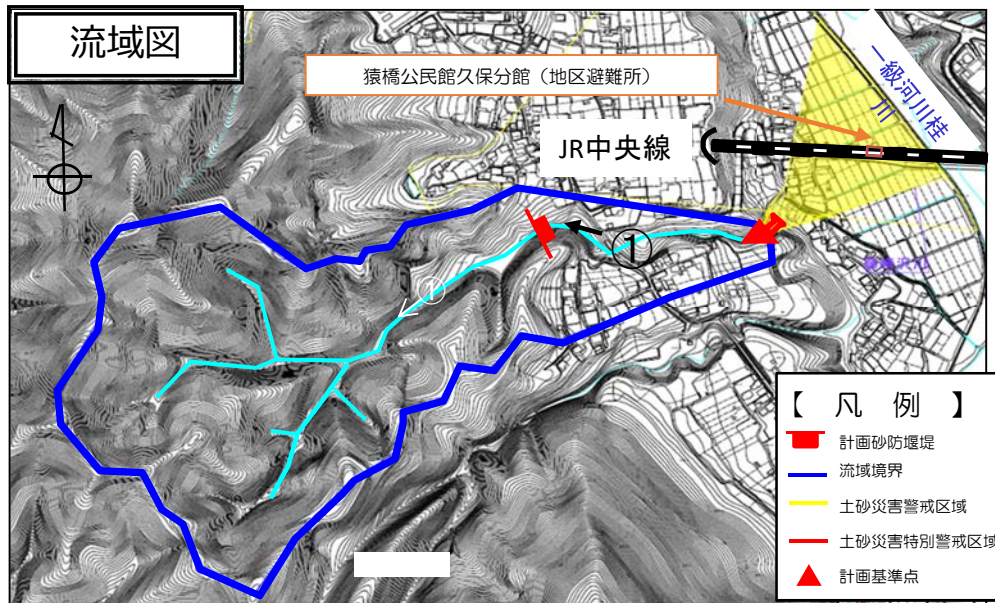
⑥既整備内容・期間・事業費
未整備

総合評価 [貢献度ランク: a]

(4) 事業位置図等

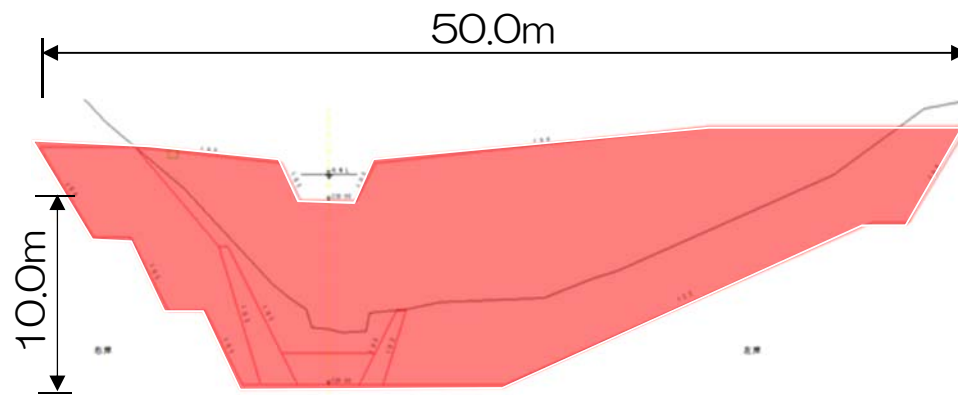
2. 添付資料シート

【平面図】



保全対象：猿橋公民館久保分館 (地区避難所)

【標準横断面図】



① 荒廃状況